

2021 高校生 まちづくり スクール 活動報告

プロジェクト編

ビジネス編

2021 高校生まちづくりスクール 活動報告

2022.3発行 / 静岡市 市民局 生涯学習推進課・子ども未来局 青少年育成課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 TEL 054-221-1207



2021 高校生まちづくりスクール

活動報告

高校生まちづくりスクールとは

「高校生まちづくりスクール」略して「まちスク」!
若者がまちづくりに参加するきっかけづくりとして、
自分の興味関心をもとに地域課題を考えていく講座です。
プロジェクト編 / ビジネス編 の2つの講座を開講しています。

もくじ

もくじ	1
プロジェクト編	
カリキュラム	2
プロジェクト紹介	3
参加者アンケート	6
ビジネス編	
カリキュラム	7
ビジネスプラン紹介	8
参加者アンケート	12
修了後の活動	13



「高校生まちづくりスクール」は、「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の
プレ過程に位置づけられています。



プロジェクト編 カリキュラム

自分自身の興味関心を探り、大学生年代のサポーターとともに、自らが感じた
地域課題を解決するための企画をグループで考案し、実施します(全6回)。

- 第1回 7/18** **自分を発見しよう!**
 チームビルディングのため、自分の興味・関心の言語化を行いました。
- 第2回 8/1** **まちづくりってなに?**
 まちづくりとは何か?を考え、8チームに編成しました。
- 第3回 9/19** **マイプロジェクト会議①**
 実施したインタビューのふりかえり、マイプロジェクトの企画書
 を作成しました。※
- 第4回 10/17** **中間報告会**
 活動の進捗を共有し、活動計画を発表、3人のゲストからコメントを
 いただきました。
- 第5回 11/28** **マイプロジェクト会議②**
 前回のコメントを踏まえ、活動のブラッシュアップをはかりました。
- 第6回 12/19** **最終報告会**
 これまでの活動をまとめ、関係者や一般視聴者に発表しました。

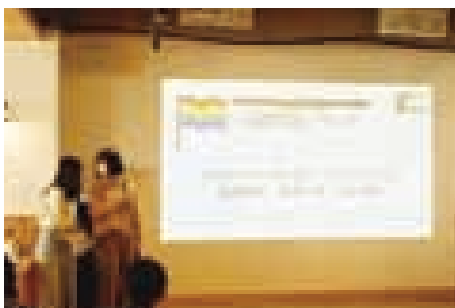
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第3回を延期してZoomで開催しました。



プロジェクト紹介(発表順)

1 君の性は ～LGBTQへの理解を深めるために～

知人に当事者がいることをきっかけに、LGBTQへの理解を深めるため活動しました。啓発ポスターを考案し、SNSで発信したほか、LGBTQパートナーシップ制度の周知を提案、学校でパブリックコメントを収集し、市へ提出しました。



2 外国人が安心して病院へ行けるようにしたい

きっかけは「処方せんの内容が理解できない、医者の説明も難しい。」という知人外国人の声。市内を歩く外国人に街頭インタビューを実施。簡単で優しい日本語と英語による処方せんのフォーマットを提案しました。



3 JKの悩み解決してみた(*^ ^*)

女子高生の居場所が欲しい!高校生が気軽に立ち寄れて、コストも少ないおしゃれなカフェを提案。女子高生をターゲットに絞ることで、彼女たちのSNS発信力が生かされることをアピールしました。



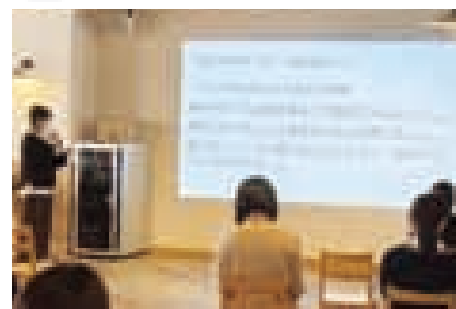
4 障がいのある子どもが通える学校を作りたい



障がいのある子どもが通える学校が不足していると考え、NPO法人や特別支援学校へのインタビューを実施。社会と繋がることで理解を深めてもらうことが重要であると気づき、市内中学校と特別支援学校の生徒間による手紙の交換交流を提案しました。



5 より多くの人に防災を知ってもらおう



いざという時、防災に関する情報や知識を持っていることで生存率が上がると考え、東日本大震災の被災者や、街頭でのインタビューを実施。防災情報を発信するSNSアカウントを試験的に立ち上げました。



6 ユニバーサルデザイン UD 開発課 ～助けやすい環境づくり～



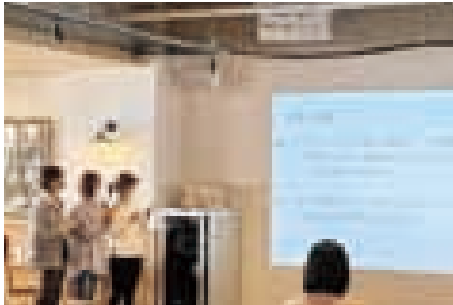
車いす利用者が困っていてもなかなか声を掛けられない…。高校で実施したアンケートをもとに、手助けしやすい環境には意識の変化や周知が必要であると考え、体の不自由な方による講話、ヘルプマークの認知・普及、障がい疑似体験会の実施を提案しました。



プロジェクト紹介(発表順)

7 静岡市の観光促進 ～静岡市のお茶に焦点を当てる～

お茶に焦点を当て、魅力を知ってもらうことで観光客増加につなげるため、SNSアカウントを立ち上げました。活動を通して、住民である自分たちが静岡市の魅力を知ることが大切であると気づき、外向けだけではなく、住民に対する魅力発信について提案しました。



8 若者の選挙投票率を向上させたい ⇒修了後の活動(P.13)

他世代と比べて低い若者の選挙投票率。若者に関心を向けてもらうためにはSNSが重要と考え、市議会議員とのディスカッションや、議員のSNS利用状況調査のほか、静岡市選挙管理委員会の協力を得て、成人式会場で選挙啓発チラシを配りました。



講師メッセージ

高校生まちづくりスクール(プロジェクト編)のなかで最も重視しているのは、まちに飛び出して学ぶことです。高校生たちは自分発で様々な地域課題を活動テーマにしていますが、会議室ですっと話しているだけでは課題の本質が見えてきません。まちのなかには既に活動しているひとがたくさんいて、そうした活動に実際に参加をしてみたり、インタビューすることでテーマへの理解を深めていきます。学校外だからこそちょっと勇気を出して飛び出してみる。そして、プロジェクトを起すことは想像以上に大変なことです。しかし、そうして動いた経験こそ、高校生の糧になるのではないかと考えています。



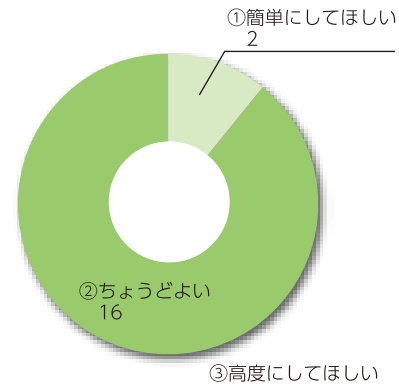
土肥 潤也さん
NPO 法人わかものまち

参加者アンケート

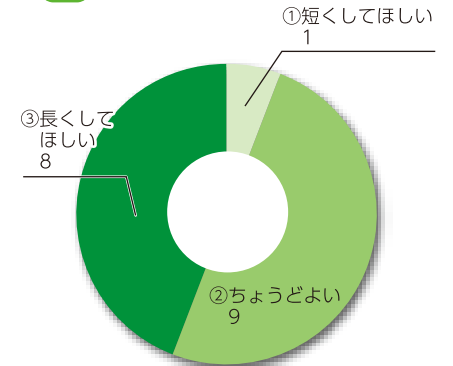
プロジェクト編修了生22名
(1年生 14名・2年生 6名・3年生 2名)

22名中18人が回答

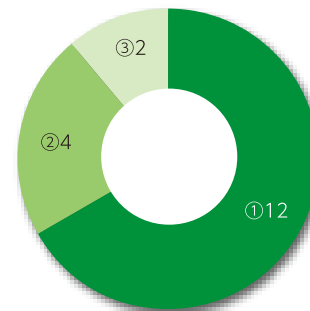
Q1 プロジェクト編の難易度は
どうでしたか？



Q2 講座の期間は
どうでしたか？



Q3 あなたのプロジェクト編への参加と市民活動について



①まちスクに参加したことを機に市民活動のようなまちづくり活動に参加した 12

②市民活動には参加していないが、市民活動のようなまちづくりに携わる活動に興味を持った 4

③市民活動には参加していない 2

Q4 プロジェクト編に参加した感想を教えてください。



すごく楽しく、大きく成長できたと実感しています。自分で選んだテーマについてもっと追究し、行動していこうと思いました。

普段あまり関わることのない他学校の人たちと関わる機会を持つことが出来たので良かった！

サポーターの人がとても話しやすかったし、頼りやすかった！

マネジメントやプランニングを学び、講師や市内で活躍する企業人からアドバイスをいただきながら、地域課題を解決するビジネスプランをグループで考案する講座です。最終回には公開プレゼンを行います。(全5回)

第1回
7/17

プランニングのコツを学ぼう!

講師の飯倉さんから、「コミュニティビジネス」の講義をしていただきました。



第2回
7/31

チームビルディング

前回の宿題「月3万円の利益を上げる! アイデアシート」の個人プレゼンを行いました。投票によって選ばれた上位11プランごとにチームを編成しました。



第3回
8/7

プランを深めよう!

市内で活躍する企業人である3名のゲスト講師やアドバイザーをお招きし、プロの視点からアドバイスや事例紹介をしていただきました。



第4回
10/2

相手に伝わるプレゼンのコツ

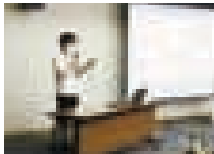
最終回に向けて、プレゼン練習を行いました。飯倉さんから企画に必要な要素や構成についてアドバイスをいただきました。



第5回
10/9

公開プレゼン!

会場の関係者やオンライン視聴の一般聴講者に向けて、ビジネスプランを発表しました。



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第4回、第5回を延期して開催しました。

① Senior TikTok School ⇒修了後の活動(P.14)



介護施設で**高校生が高齢者と一緒にTikTokを撮影**し、作成した動画を家族へ提供するビジネスプラン。

世代間交流だけでなく、高齢者の生きがいづくりによる認知症予防や健康増進、介護職のイメージアップによる介護職の人手不足解消を図ります。



② プルンと可愛らしいこんにゃく石鹸



静岡の**廃棄野菜を使ったこんにゃく石鹸を企業と共同開発**するビジネスプラン。

子どもから大人まで使え、話題性もあるこんにゃく石鹸と廃棄野菜のコラボを実現することで、食品ロスの解消だけでなく、静岡の野菜のPRも図ります。



③ BSW (Bamboo Student Workshop)



放置竹林問題を解決するため、**竹を利用したワークショップを開催**するビジネスプラン。

全世代を対象に、インテリア兼災害時にも利用できる“竹灯籠”を作ることで、竹の利活用による防災意識の向上、地域間の交流を図ります。



ビジネスプラン紹介(発表順)

4 Cha Cha Project

静岡のお茶の魅力を発信するため、**高校生が茶屋などに出向き、急須で入れるおいしいお茶をお客さんに体感してもらう**ビジネスプラン。

急須でお茶を飲まない傾向にある若者には、SNSを駆使して茶葉の魅力を発信することで、産出額が減少している茶産業の活性化を図ります。



5 Walking Shizuoka

沿線地域のお店で使えるクーポンや特別体験ができる特典の付いた、**鉄道の特別乗車券を販売**するビジネスプラン。

沿線地域を回遊する仕組みをつくり、購入者に沿線のお店や名所の魅力を知ってもらうことで、沿線地域の活性化を図ります。



6 静岡YouTube

YouTubeを通じて、静岡市の魅力を世界中の人に発信するビジネスプラン。

高校生目線でみた市内の観光地やオススメスポットを、日本語と英語の字幕をつけた動画で紹介。観光客の増加を図りつつ、動画の収益化も狙います。



7 利き茶ガチャ ⇒修了後の活動(P.14)



「静岡と言えばお茶!」を目指し、**静岡茶の「利き茶」ができるカプセル自動販売機を設置**するビジネスプラン。

地元のお茶農家と連携し、3種類のティーバッグと答えの紙をカプセルに入れて販売。クイズ感覚でお茶を楽しんでもらうことで、静岡茶の販売促進とファンの増加を図ります。



8 海洋プラスチックごみ



アート作品で海洋プラスチックごみ問題を提起するビジネスプラン。

市内の高校生を巻き込んで、大規模なペットボトルアートを製作したり、拾い集めた海洋ごみでアクセサリーを作るワークショップを開催することで、問題の解決に取り組む人の増加を図ります。



9 保護犬マルシェ



保護犬とふれあいながら軽食も楽しめる「保護犬マルシェ」を開催し、里親希望者と保護犬をマッチングさせるビジネスプラン。

保護犬との出会いの場を提供し、犬との暮らしをイメージしてもらうことで、里親希望者を増やし、殺処分されてしまう保護犬を一匹でも多く救います。



ビジネスプラン紹介(発表順)

10 今日のおやつ

高校生がアレルギーフリーのお菓子を提案するビジネスプラン。

流行に敏感な高校生がお菓子のトレンドを調査し、アレルギーフリーにしたレシピを提案&お菓子屋さんに製造依頼。SNSで宣伝を行い、アレルギーフリーのお菓子を広めていくことで誰もがおいしいお菓子が食べられる世の中を目指します。



11 No More 野菜ロス

農家さんから譲ってもらった規格外野菜をワンコインで販売するビジネスプラン。

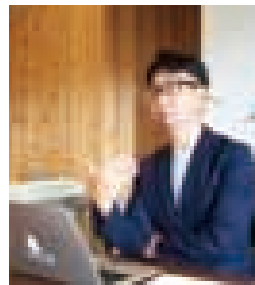
販売する際に、野菜を提供してくれた農家さんの紹介プレートを作成することで、農家さんの宣伝を行い、地産地消に繋げるとともに、廃棄野菜の削減を図ります。



講師メッセージ

今年度も多くの受講生が参加してくれたこと本当に感謝します。静岡市には多くの「課題」が存在し、その課題をビジネスという手法で解決できないかと考えるのが静岡市まちづくりスクール(ビジネス編)の特徴です。ビジネスという手法で企画を練り上げたことは高校生みんなには新鮮であり、そして難しい課題だったかもしれませんが、そして今年度も人前で話すということがゴールになっていることで、それぞれの企画が磨き上げられたと思います。

「思いつく人は1000人、実行する人は10人、継続する人は1人」と言われますが、やはり企画は実行をする事がとても重要です。講座を通し、さまざまな経験や考え方を習得してくれたと思っています。その力をぜひ次のステップに活かし常に「行動」をしていてくださいね。

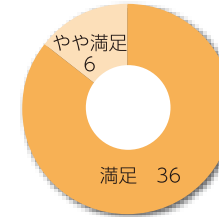


飯倉 清太さん
NPO 法人サプライズ代表理事

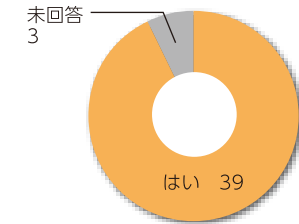
参加者アンケート

ビジネス編修了生42名
(1年生 20名・2年生 15名・3年生 7名)

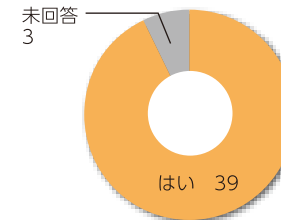
Q1 全5回をとおして、
ビジネス編はいかがでしたか



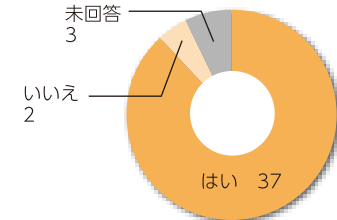
Q2 参加前よりも「起業」や
「ビジネス」が身近に感じ
られるようになりましたか



Q3 今後、地域や社会を良くする
ために行動していきたいと
思いますか



Q4 後輩や他の高校生に
まちスクの参加を勧めたいと
思いますか



Q3 まちスクに参加した感想を教えてください。

ビジネスに対するイメージや考え方が大きく変わりました。ビジネスって面白いと思いました。

自分が住んでいる静岡のことを考えることができてよかったです。

違う学校の高校生と交流したり、実際に起業している方々に関われて楽しかったです。学校でもなかなかないような学びができました。

興味を持ったことに対して、そのままにせず調べてみる・行動してみるということができるようになった。

大人じゃなくても、やりたいことをみんな考えて実行できる機会がもらえて嬉しかったです。

人に対して自分の意見を発信する自信ができました。プランを改善していくことに、やりがいと達成感を感じました。

修了後の活動(プロジェクト編)

8 若者の選挙投票率を向上させたい

チーム「キャメル」として活動。

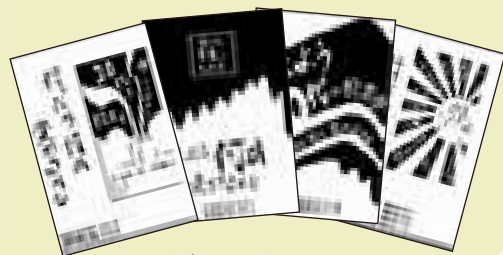
市議会議員の協力を得て、高校生の仲間と一緒にディスカッション!率直な意見や質問を投げかけ、議員は高校生の興味や熱意に感心する場面も…。



自分たちでデザインした 選挙啓発チラシを 新成人へ



静岡市選挙管理委員会の協力により、自分たちでデザインした選挙啓発チラシを2022静岡市成人式に参加した新成人へ配り、啓発を行いました。



デザインは何回も
試行錯誤を重ねました。

修了後の活動(ビジネス編)

1 Senior TikTok School

チーム「もあい」として活動継続中。

静岡鉄道株式会社の介護施設にご協力いただき、ビジネスプランの実現に向けて、トライアル実施を行いました。



施設スタッフの方々に
プランを説明&実演



フィードバック

実際に施設を利用している方々にTikTokを体験していただき、完成した動画はご家族に提供しました。スタッフの方や利用者の方からは好評をいただくことができました。



施設利用者の方々とTikTokを撮影!

皆さんからいただいた感想や意見を踏まえ、プランの改善を行いながら、今後も活動を続けていく予定です!

7 利き茶ガチャ

地元企業やお茶農家にご協力いただきながら活動継続中。

カプセルに入れる茶葉の種類や、問題用紙の内容などを検討し、カプセル自動販売機の設置実現に向けて奮闘しています!

高校生の今後の活躍に
ぜひご注目ください!

